えがおいっぱい　すくすくそだて
しょうわっこ　園長だより３　R7.6.3

今回は、本年度の取組②についてお伝えします。

本園は、昭和五つ星学園義務教育学校Ⅰ－5アクティブキャンパスに隣接しています。校内には、児童と幼児が一緒に遊ぶことができる交流ルーム（先日引き渡し訓練を行った教室）があります。また、職員室や教室に手紙を届けに行ったり、校庭で遊んだりして施設にも慣れていきます。学校の業間時間には、児童は園庭に遊びに来ます。学校の業間時間にひとつの学年の児童と業間時間に交流する「なかよしタイム」を行っています。児童との交流により幼児の遊びや生活がより楽しくなるようにしていきたいと思います。

本年度の具体的取組

① 幼児が「やってみたい」と思い、人とつながりながら主体的に遊ぶような環境をつくり援助を行う。
② 幼児の生活や遊びがより充実するような義務教育学校との交流を行う。
③ 基本的生活習慣が身に付くように「きらきらカード」の活用や指導を行う。
④ 友達や異年齢児と関わり、互いの思いに気付くような「ピア・サポート」の実践を行う。
⑤ 昭和地区の自然に触れる園外保育と地域の人との交流を実施する。
⑥ 親子で地域（居住地を含む）を知ることができるように地域の行事の参加を促したり園外保育の様子を伝えたりする。

5月20日「4年生となかよしタイム」　児童は、幼児がしている遊びに入り、一緒に遊びました。

泥団子作り。そら組がさら粉がある場所に連れて行き、向かい合って団子を作っています

「先生、もっといいさら粉の場所があったよ」と4年生。「いいさら粉を何回もかけるといい団子になる」と教えてくれました

砂場では、そら組がといをつないで中に舟を置き、水の勢いで舟を流すことを楽しんでいます。といを少し離した場所に置き、舟をジャンプさせようとしますがうまくいきません。「もっと角度をつけた方がいい」「バケツで勢いよく水を流した方がいい」とアドバイスをしてくれました。次の日から同じようにしてみる姿が見られています。

学校の校庭には園にはない総合遊具、雲ていなど、子どもたちが「やってみたい」と感じる遊具があります。やりたいので順番を待つ、やってみる、やってみたらできた、もう1回やってみよう、「こうするといいよ」と友達にして見せるなど、人とつながり、挑戦する気持ちが育つことを願っています。

6年生が内容を計画した学園交流会。園児・児童・生徒が AC 体育館に集まりゲームをしました。日頃小さい組の世話をするそら組が甘えていく姿が印象的でした。してもらったことをいつか返す側になってほしいです。

きりとりせん

読まれた感想・ご意見などありましたら教えてください。園長だより3（　　）組　園児名（　　）